

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	前期
科目名称	キャリアアップⅡ	履修	必履修
担当講師	佐々木茂・東海林千秋、工藤正剛		
担当講師の実務経験の有無	○無・有（ ）		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	70		単位時間
授業計画	4月	業界研究、就職試験対策等	
	5月	業界研究・企業研究、販売知識、就職試験対策等	
	6月	業界研究・企業研究、販売知識、就職試験対策等	
	7月	業界研究・企業研究、販売実践、就職試験対策等	
	8月	業界研究・企業研究、販売実践、就職試験対策	
	9月	業界研究・企業研究、販売実践、就職試験対策	
	10月	/	
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	1年次で学んだ一般教養やビジネスマナー等を基に実際の企業の就職試験に活かすべくより実践的な項目を学ぶ。		
授業目標	希望企業への内定及び社会における一般知識を得る。		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	前期
科目名称	資産設計論Ⅱ	履修	必履修
担当講師	佐々木茂、加藤静香		
担当講師の実務経験の有無	○無・有（ ）		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義
単位時間数	80 単位時間		
授業計画	4月	A分野ライフ B分野 保険 C分野 金融 D分野 税金	
	5月	E分野 不動産 F分野 相続 総まとめ 過去問対策	
	6月		
	7月		
	8月		
	9月		
	10月		
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	社会において必要な社会保険の基本的知識を学ぶとともにファイナンシャルプランニング3級の資格取得を目指す。		
授業目標	ファイナンシャルプランニング3級の合格		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	前期
科目名称	コンピューターリテラシーⅢ	履修	必履修
担当講師	佐々木真弓		
担当講師の実務経験の有無	○無・有 ( )		
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習
単位時間数	70 単位時間		
授業計画	4月	Word3級問題の見直し	
	5月	Wordの新しい機能(スタイルなど)の設定練習	
	6月	Word2級の練習問題と知識問題の練習	
	7月	Word2級の検定問題のまとめ	
	8月	Excel2級の準備	
	9月	Excel2級の準備	
	10月	/	
	11月		
	12月		
	1月		
	2月		
	3月		
授業概要	ワープロソフト(Word)の基本操作の見直しから新しい機能(スタイル・図形)と応用力を身につけることを目的とする。		
授業目標	サーティファイWord検定2級の合格		
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。		

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	前期	
科目名称	民法Ⅱ	履修	選択必修	
担当講師	畠山梢			
担当講師の実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	122 単位時間			
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			売買契約 意思表示・代理
	7月			危険負担・抵当権・登記
	8月			賃貸借契約・借地借家法
	9月			その他の法律
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	宅建士の学習項目の中の「民法」分野を学ぶ。			
授業目標	宅地建物取引士試験の合格			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	前期	
科目名称	宅地建物取引業法Ⅱ	履修	選択必修	
担当講師	島山梢			
担当講師の実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	130		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			宅建士の免許・登録
	7月			事務所開設・営業保証金
	8月			契約行為と規制
	9月			報酬額とペナルティー
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	宅建士の学習項目の中の「宅地建物取引業法」分野を学ぶ。			
授業目標	宅地建物取引士試験の合格			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	前期	
科目名称	建築法規Ⅱ	履修	選択必修	
担当講師	佐々木茂			
担当講師の実務経験の有無	無・ <b>有</b> (宅地分譲・マンション分譲経験あり。宅建士資格者)			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	130		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			都市計画法
	7月			建築基準法
	8月			国土利用計画法・農地法
	9月			土地区画整理法・宅地造成等規制法
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	宅建士の学習項目の中の「法令上の制限」分野を学ぶ。			
授業目標	宅地建物取引士試験の合格			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	前期	
科目名称	税法概論Ⅱ	履修	選択必修	
担当講師	畠山梢			
担当講師の実務経験の有無	○無・有 ( )			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	32 単位時間			
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			不動産取得税・固定資産税
	9月			その他の税金等
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	宅建士の学習項目の中の「税金」分野を学ぶ。			
授業目標	宅地建物取引士試験の合格			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	前期	
科目名称	宅建総合演習Ⅲ	履修	選択必修	
担当講師	佐々木茂			
担当講師の実務経験の有無	無・ <b>有</b> (宅地分譲・マンション分譲経験あり。宅建士資格者)			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習	
単位時間数	54		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			宅建士講義内容の演習
	9月			宅建士講義内容の演習
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	宅建士の講座における「民法Ⅱ」、「宅地建物取引業法Ⅱ」、「建築法規Ⅱ」、「税法概論Ⅱ」、「宅建総合演習Ⅲ」の演習を行う。			
授業目標	宅地建物取引士試験の合格			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			



## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	前期	
科目名称	英語ビジネス講座Ⅱ	履修	選択必修	
担当講師	一方井良枝			
担当講師の実務経験の有無	○無・有 ( )			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	72		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			名詞、動詞、形容詞、接続詞等等
	7月			現在形、現在完了形、過去形、過去進行形等
	8月			過去完了形、未来形等
	9月			分詞、受動態、会計代名詞等
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	ビジネス英語等について英語の基本と英会話の実践を行う。			
授業目標	英語の基本の習得			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	後期	
科目名称	資産設計論Ⅲ	履修	必履修	
担当講師	佐々木茂、加藤静香			
担当講師の実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	124		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			ファイナンシャルプランニング基本事項総復習
	11月			A分野 ライフ B分野 保険 C分野 金融 D分野 税金
	12月			E分野 不動産 F分野 相続
	1月			総まとめ・過去問対策
	2月			
	3月			
授業概要	社会において必要な社会保険の基本的知識を学ぶとともにファイナンシャルプランニング2級の資格取得を目指す。			
授業目標	ファイナンシャルプランニング2級の合格			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	後期	
科目名称	卒業研究	履修	必履修	
担当講師	佐々木茂			
担当講師の実務経験の有無	○無・有 ( )			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習	
単位時間数	110		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			自分の学んだ分野からの研究テーマ決め
	12月			自主研究
	1月			発表に向けての資料作成等
	2月	発表準備及び発表		
	3月			
授業概要	自分が今まで学んだ中から、研究したいテーマを決め研究する。最終日には発表を行う。			
授業目標	自主研究力とプレゼン力の要請			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	後期	
科目名称	コンピューターリテラシーⅣ	履修	必履修	
担当講師	佐々木真弓			
担当講師の実務経験の有無	○無・有 ( )			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	実習	
単位時間数	40		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			Excel2級の新しい機能と知識問題の練習
	11月			Excel2級の新しい機能と知識問題の練習
	12月			Excel2級の検定問題の練習
	1月			Excel2級の検定問題の練習
	2月			Excel2級の検定問題のまとめ
	3月			
授業概要	表計算ソフト(Excel)の基本操作の見直しから新しい機能(関数、マクロ等)と応用力を身につけることを目的とする。			
授業目標	サーティファイExcel検定2級の合格			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	後期	
科目名称	宅建総合演習Ⅳ	履修	選択必修	
担当講師	島山梢			
担当講師の実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習	
単位時間数	66 単位時間			
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			過去問対策・予想問題演習
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	宅建士の講座を受けて、宅建士試験の過去問対策・予想問題対策を行う。			
授業目標	宅地建物取引士試験の合格			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	前期	
科目名称	国内旅行概論Ⅱ	履修	選択必修	
担当講師	玉澤浩光			
担当講師の実務経験の有無	無・ <input checked="" type="radio"/> (元旅行会社勤務・旅行業務に携わる・資格取得者)			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	68		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			旅行業法のあらまし
	7月			登録制度等、標準旅行約款
	8月			標準旅行約款等
	9月			業法・約款まとめ
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	国内旅行業務取扱管理者の試験における旅行業法・約款部分の学習する。			
授業目標	国内旅行業務取扱管理者の合格			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	前期	
科目名称	国内旅行地理Ⅱ	履修	選択必修	
担当講師	玉澤浩光			
担当講師の実務経験の有無	無・ <input checked="" type="radio"/> (元旅行会社勤務・旅行業務に携わる・資格取得者)			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	78		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			JR運賃・料金
	7月			国内航空運賃・宿泊料金等
	8月			国内観光資源
	9月			国内観光資源まとめ等
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	国内旅行業務取扱管理者の試験における旅行業法・約款部分の学習する。			
授業目標	国内旅行業務取扱管理者の合格			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	前期	
科目名称	海外旅行実務Ⅱ	履修	選択必修	
担当講師	玉澤浩光			
担当講師の実務経験の有無	無・ <input checked="" type="radio"/> (元旅行会社勤務・旅行業務に携わる・資格取得者)			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	80		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			渡航手続代行契約・国際運送約款
	7月			旅行実務・旅行英語
	8月			国際航空運賃・出入国関係法令
	9月			国際運送約款・運賃・法令まとめ
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	総合旅行業務取扱管理者の試験における旅行業法・約款部分の学習する。			
授業目標	総合旅行業務取扱管理者の合格			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			



## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	前期	
科目名称	海外旅行地理Ⅱ	履修	選択必修	
担当講師	玉澤浩光			
担当講師の実務経験の有無	無・ <input checked="" type="radio"/> (元旅行会社勤務・旅行業務に携わる・資格取得者)			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	198		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			海外の観光資源(アジア・中東)
	7月			海外の観光資源(ヨーロッパ、北米・ハワイ)
	8月			海外の健康資源(中南米、アフリカ、オセアニア)
	9月			海外の観光資源のまとめ
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	総合旅行業務取扱管理者の試験における旅行業法・約款部分の学習する。			
授業目標	総合旅行業務取扱管理者の合格			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	前期	
科目名称	旅行総合演習Ⅲ	履修	選択必修	
担当講師	玉澤浩光			
担当講師の実務経験の有無	無・ <input checked="" type="radio"/> (元旅行会社勤務・旅行業務に携わる・資格取得者)			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習	
単位時間数	44		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			国内旅行業務取扱管理者検定問題演習
	9月			総合旅行業務取扱管理者検定問題演習
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	国内旅行業務取扱管理者試験および総合旅行業務取扱管理者試験における過去問題・予想問題等を演習する。			
授業目標	国内旅行業務取扱管理者試験及び総合旅行業務取扱管理者の合格			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	前期	
科目名称	英語表現演習Ⅱ	履修	選択必修	
担当講師	一方井良枝			
担当講師の実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習	
単位時間数	86		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			英単語・英熟語の基本形
	7月			英単語・英熟語の基本形
	8月			ビジネス分野、アカデミック分野等からの英文の抽出・作成等
	9月			英文を活用した実践演習等
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	英単語・熟語に関する総合的な語彙力の向上を目指す。			
授業目標	TOEIC試験における説明文問題等に対応する。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	前期	
科目名称	英語聴解演習Ⅱ	履修	選択必修	
担当講師	一方井良枝			
担当講師の実務経験の有無	○無・有 ( )			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習	
単位時間数	64 単位時間			
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			短文聴解基礎
	7月			短文聴解基礎
	8月			応答問題・会話問題の聴解等
	9月			説明文聴解等、聴解まとめ
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	英語による音源を効果的に聴取することにより英文の理解を深めていく演習授業。			
授業目標	TOEIC試験におけるリスニング問題等に対応する。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	前期	
科目名称	英文解釈演習Ⅱ	履修	選択必修	
担当講師	一方井良枝			
担当講師の実務経験の有無	○無・有 ( )			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習	
単位時間数	54 単位時間			
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			短文解釈基礎
	7月			短文解釈基礎
	8月			短文穴埋め問題演習
	9月			長文穴埋め問題演習
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	様々なジャンルにおける英語による各種情報媒体の理解を目指すとともに、各種英文を作成することを行う。			
授業目標	TOEIC試験におけるリーディング問題等に対応する。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	前期	
科目名称	英文法演習Ⅱ	履修	選択必修	
担当講師	一方井良枝			
担当講師の実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習	
単位時間数	48		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			名詞、動詞、形容詞、接続詞等基礎
	7月			現在形、現在完了形、過去形、過去進行形等
	8月			英語作成演習
	9月			英語作成演習
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	英語による音源を効果的に聴取することにより英文の理解を深めていく演習授業。			
授業目標	TOEIC試験におけるリスニング問題等に対応する。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	前期	
科目名称	総合英語演習Ⅱ	履修	選択必修	
担当講師	一方井良枝			
担当講師の実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習	
単位時間数	126		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			各種試験内容の把握
	7月			分野別基礎問題演習
	8月			分野別応用問題演習
	9月			模擬試験等
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	TOEIC試験における各分野をバランスよく演習し、時間配分を含めた実践的なトレーニングを行う。			
授業目標	TOEIC試験におけるより実践的な力の養成			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	前期	
科目名称	実践ビジネス英語Ⅲ	履修	選択必修	
担当講師	一方井良枝			
担当講師の実務経験の有無	○無・有 ( )			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	60		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			ビジネス英語の基礎
	9月			ビジネス英語の実践
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	TOEIC対策で学んだ英語の知識を基に、ビジネスに関連した実践的なビジネス英語を習得するための講義・演習			
授業目標	ビジネス関連の英語の習得			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			



## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	前期	
科目名称	国際コミュニケーション概論Ⅱ	履修	選択必修	
担当講師	一方井良枝			
担当講師の実務経験の有無	○無・有 ( )			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	30		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			異国文化・マナーの把握等
	9月			実践英会話基礎
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	異国間の円滑なコミュニケーションの実現のために、それぞれの国の文化・歴史を学びつつ英会話を基本に学ぶ。			
授業目標	異国間での円滑なコミュニケーションの実施			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	前期	
科目名称	不動産ビジネス講座Ⅱ	履修	選択必修	
担当講師	佐々木茂			
担当講師の実務経験の有無	○無・有 ( )			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	72		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			住宅購入の基礎知識
	8月			住宅ローンの基礎
	9月			住宅ローンを踏まえたライフプランの作成
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	宅建知識のみではなくファイナンシャルプランニングの知識も使いライフプランの計画を考察する。			
授業目標	住宅建設・購入を踏まえたライフプランの作成			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	前期	
科目名称	観光ビジネス講座Ⅱ	履修	選択必修	
担当講師	佐々木茂			
担当講師の実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	72		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			旅行パンフレット等の収集・整理
	8月			旅行プランの作成・検討
	9月			旅行プランの発表等
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	国内旅行業務取扱管理者や総合旅行業務取扱管理者で学んだ知識を使って自分たちで旅行プランを作成する。			
授業目標	自分たちでオリジナルの旅行プランを作成する。			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	後期	
科目名称	旅行総合演習Ⅳ	履修	選択必修	
担当講師	佐々木茂			
担当講師の実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	演習	
単位時間数	66		単位時間	
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			過去問対策・予想問題演習
	11月			
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	総合旅行業務取扱管理者試験の合格に向けて過去問題・予想問題等の演習を行う。			
授業目標	総合旅行業務取扱管理者試験の合格			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			

## 2019年度 シラバス

開講区分	総合ビジネス学科	開講時期	後期	
科目名称	実践ビジネス英語Ⅳ	履修	選択必修	
担当講師	一方井良枝			
担当講師の実務経験の有無	○無・有（ ）			
開講曜日	月曜日～金曜日	授業の方法	講義	
単位時間数	66 単位時間			
授業計画	4月	/		
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月			
	10月			観光関連英語の基礎
	11月			旅行に使う実践英語等
	12月			
	1月			
	2月			
	3月			
授業概要	観光・サービス業に関連するビジネス英語をグループ学習や会話トレーニングを通じて学ぶ。			
授業目標	観光サービス業における実践英語の習得			
成績評価	履修科目の単位認定は80%以上の出席率を満たすものとする。当該年度の学期ごとに試験を行い、それに伴う成績会議を実施して、その結果で単位を認定する。 [評価基準]100～80点は「優」、79～60点は「良」、59～50点は「可」、49～0点は「不可」とする。			